

今こそ 聴きたい 講演会



すげのやあきら
講師・菅谷昭先生(医師・松本市長)

1943年長野県生まれ。1968年信州大学医学部卒業。元同大学助教授。専門は甲状腺外科。
1996年、チェルノブイリ原発事故後の医療支援活動のため高度に汚染されたベラルーシ共和国に渡り、
首都ミンスクの国立甲状腺がんセンター等で小児甲状腺がんの外科治療を中心に医療支援活動を行う。
2001年、5年半に及び長期滞在を終え帰国。長野県衛生部長を経て2004年松本市長に就任。現在4期目。

未来への バトン

100年先の子どもたちのために
～福島のと保養留学～

2019年10月22日(火・祝) 13:00-15:00 (12:30 開場)

バンビオ1番館 長岡京市生涯学習センター 3F メインホール

JR長岡京駅西口より徒歩2分(デッキ直通)

参加費 500円 (学生・東日本大震災による避難者は無料)

託児料 500円 (1歳半以上・お申し込み多数の場合は抽選)

予約方法

右のQRコードまたは、ミンナソラノシタHPのトップページからお申し込みください。

※エル・コープ組合員の方は申込方法が変わりますので、別紙にてお申し込みください。



主催 ミンナソラノシタ 協賛 生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ

後援 キリン堂、LUSH、生活協同組合コープ自然派京都、京都新聞、向日市、向日市教育委員会、
長岡京市、長岡京市教育委員会、大山崎町、大山崎町教育委員会

お問い合わせ先 生活クラブ京都エル・コープ 075-934-7371

福島ママ講師

猪股美奈さん

福島県会津若松市出身、郡山市在住。

小2女子と年中男子の2児の母。

福島県教職員組合郡山支部書記。

2017年より「こおりやま子育ての会」を主宰。

仲間と自然食や自然なお手当てを学ぶ。

今年6月からは福島県内でのCSA

(community supported agriculture) の活動に携わり、

福島県で真心こめて育てられるオーガニック食材を

広めるべく活動中。

第1回ミンナソラノシタ幼稚園留学に参加。

福島ママ講師

伊藤抄子さん

福島県いわき市出身、郡山市在住。

年長女子と3歳男子の2児の母。専業主婦。

震災後、家族や夫の仕事等を考慮し、

県外移住はしないという選択をするが、

放射線の子どもへの影響を不安に思う日々を過ごす。

子どもたちの心と体のために、長期休暇は

保養などを利用して県外で過ごすようにしている。

「幼児期からの性教育」を広めるために活動中。

第2回ミンナソラノシタ幼稚園留学に参加。

京都発 ママ達による
福島こども応援プロジェクト



100年先もみんな空の下、幸せに暮らしてほしい…という思いで、
震災後の福島のこどもたちを応援している京都の母親を中心としたボランティアグループです。

福島への室内砂場の寄贈や、震災関連の講演会・映画上映会・避難者交流会などを開催し、

福島の生の声を関西の人たちに届けたいと願って活動しています。

向日市のまこと幼稚園が実施していた幼稚園留学のサポートを経て、

2017年からは独自の幼稚園留学を実施。

メンバー募集中です！

サステイナブルなひと、 生活クラブ 京都エル・コープ

生活クラブは国産、無添加、減農薬、こだわりの安心食材を扱う生協です。

「放射能が健康に与える影響にしきい値はない。」という考えに基づき、取り扱う食材に関し自主基準値を設定しています。

これまでに9万7千件を越える放射能検査を行い、検査結果をすべて公開しています。

そして、被ばくの不安を少しでも和らげるためにリフレッシュツアーを実施し、また、子どもの甲状腺がんが

危惧される中、「福島の子どもと知る権利を守る活動」として独自の甲状腺検査活動を続けています。

幼稚園留学ってなあに？

福島の幼稚園児と母を京都に招き、
3週間西京区の幼稚園に通ってもらう「保養留学」です。
ミンナソラノシタが主催しています。

チェルノブイリ原発事故で汚染の激しかったベラルーシでは、
事故から30年経った今もなお、国策で子どもたちの
「保養」を行っています。

汚染の少ない地域で一定期間過ごすことにより、

体内の放射性物質が排出され、

健康状態が好転する子どもが多いそうです。

ベラルーシの保養を参考に生まれたのが、

ミンナソラノシタ幼稚園留学です。

